



第46回 日本ハンドボールリーグ 映像研修 1

2021年9月8日
日本ハンドボールリーグ審判委員会

開幕試合における7メートルスローを判定した場面から、その是非とその判断基準をチーム、レフェリー、テクニカルオフィシャル間で共有したい。

あくまで映像の角度からの見解であるが、判定の是非より、判断基準について理解していただきたい。

【フォルダーURL】 <https://drive.google.com/drive/folders/1IMPuN9ZcPbJhtzTlxN8HSU69HUXOgWYD?usp=sharing>

A) ゴールエリアへの侵入

<https://drive.google.com/drive/folders/1BhwWekE7U2l04jhyUlWArVc2qpwgWBL2?usp=sharing>

映像 番号	判 断 基 準					コ メ ン ト
	接触の スタート	明らかな 得点チャンス	シュートへの 影響	アドバン テージ	7mスローの 判定の是非	
A-1	GA内	○	あり		OK	
A-2	GA内	○	あり		OK	
A-3	GA外		あり		NG	防御側プレーヤーは攻撃側プレーヤーに正対しているため、明らかな得点のチャンスとは言えない。
A-4	GA外	○	あり		OK	明らかな得点チャンスにおける身体接触での違反であり、GA侵入による違反ではない。
A-5	GA内	○	あり		OK	ボディーランゲージも明確でわかりやすい。

A) ゴールエリアへの侵入

映像 番号	判 断 基 準					コ メ ン ト
	接触の スタート	明らかな 得点チャンス	シュートへの 影響	アドバン テージ	7mスローの 判定の是非	
A-6	GA外		なし		NG	防御側プレイヤーは、GA外で相手に正対しており、違反行為はない。
A-7	GA内	○	あり		OK	
A-8	GA内	○	あり		OK	
A-9	Gray	○	あり		OK	足下はよく見えないがDF間の隙間は閉じられていない。レフェリーの判定に対し、映像のようにチーム関係者が立ち上がる行為については、許してはならずMO、TDが毅然と対処すべき。
A-10	GA内	○	あり		OK	
A-11	GA外		なし		NG	防御側プレイヤーに違反行為はみられない。
A-12	GA外		あり		NG	6:2「GAに明らかに踏み込む」に該当するには難しい。十分に突破できるスペースがあったとも言いがたい。
A-13	GA内	○	あり		OK	ボディランゲージも明確でわかりやすい。

A) ゴールエリアへの侵入

映像 番号	判 断 基 準					コ メ ン ト
	接触の スタート	明らかな 得点チャンス	シュートへの 影響	アドバン テージ	7mスローの 判定の是非	
A-14	GA内	○	あり		OK	
A-15	GA内を 通過後	○	あり		OK	ゴールエリアは「聖域」であり保障すること。 中を移動したりして有利になろうという行為は認められない。
A-16	GA内	○	あり		OK	A-15と同じ考え方。
A-17	GA内	○	なし		NG	ゴールエリアにいる防御側プレーヤーによる身体接触の違反は見られない。また、攻撃側プレーヤーのシュートコースに影響を与えたわけでもない。

B) 明らかな得点チャンスへの違反

<https://drive.google.com/drive/folders/1Rz1bZ2gUcYD9v0wKr3r1qS4SiAeUFgKt?usp=sharing>

映像 番号	判 断 基 準					コ メ ン ト
	接触の スタート	違反行為の 種類	シュートへの 影響	7mスローの 判定の是非	罰則	
B-1	後方	つかむ	あり	OK	必要	後方からボールを対象としない。
B-2	横	押す	あり	OK	不要	
B-3	横	つかむ	あり	OK	必要	レフェリーはGA内のボディーランゲージを示しているが、GAには入っていない
B-4	横	身体を ぶつける	あり	OK	必要	ボディーランゲージも明確でわかりやすい。
B-5	横	押す	あり	OK	不要	
B-6	後方	つかむ	あり	OK	必要	即座に2分間退場は正しい。
B-7	後方	つかむ	あり	OK	必要	防御側プレイヤーは左手で相手のユニホームをつかんでいる。
B-8	後方	押す	あり	OK	必要	
B-9	横	つかむ	4歩目以降	NG	不要	防御側プレイヤーは攻撃側プレイヤーの視野内に入り、足を使って移動している。
B-10	後方	つかむ	あり	OK	必要	

B) 明らかな得点チャンスへの違反

映像 番号	判 断 基 準					コ メ ン ト
	接触の スタート	違反行為の 種類	シュートへの 影響	7mスローの 判定の是非	罰則	
B-11	後方	押す	あり	OK	必要	
B-12	横	つかむ	あり	OK	不要	防御側プレーヤーは攻撃側プレーヤーの視野内に入っている。
B-13	後方	つかむ	あり	OK	不要	
B-14	後方	つかむ	あり	OK	必要	
B-15	後方	つかむ	あり	OK	不要	後方からの些細な接触であり、シュートに影響はあったが罰則は不要。
B-16	横	押す	あり	OK	必要	
B-17	後方	押す	あり	OK	必要	
B-18	横	押す	あり	OK	必要	
B-19	後方	つかむ	4歩目以降	NG	必要	後方からつかまれ、シュート体勢に入る段階で4歩を踏んでいる。退場+フリースローとすべき。
B-20	横	押す	あり	OK	必要	

C) 明らかな得点チャンスではない

https://drive.google.com/drive/folders/1ONQJAx3QAXB41J9ZtU3Q50Kd_bsy_rsm?usp=sharing

映像 番号	判 断 基 準			コ メ ン ト
	接触のスタート	ゴールエリアの	7mスローの 判定の是非	
C-1	正面	外	NG	攻撃側プレイヤーは突破する十分なスペースがなく、防御側プレイヤーに正面で守られている。
C-2	横	外	NG	攻撃側プレイヤーは押されたが、シュートの際はウィングポジションの防御側プレイヤーの正面であり、明らかな得点チャンスではない。
C-3	正面	外	NG	防御側プレイヤーはゴールエリア外で正対して守っている。罰則を付加する理由も見当たらない。

D) 攻撃側の違反

<https://drive.google.com/drive/folders/1wvygKHKwY4r7g-sI6pJ0XPVxBaJIPYeu?usp=sharing>

映像 番号	コ メ ン ト
D-1	<p>【新傾向】</p> <p>攻撃側プレイヤーは左腕で相手防御側プレイヤーの左腕をはさみながら引きずるように移動している。攻撃側も違反しており、攻撃側のアドバンテージを認めることはできず、早めに笛を吹き、競技を中断させることが必要。この場合は、攻撃側のフリースローの判定が適切である。</p>

<問い合わせ先>

JHL審判委員長 福島亮一
futkun1212jp@yahoo.co.jp